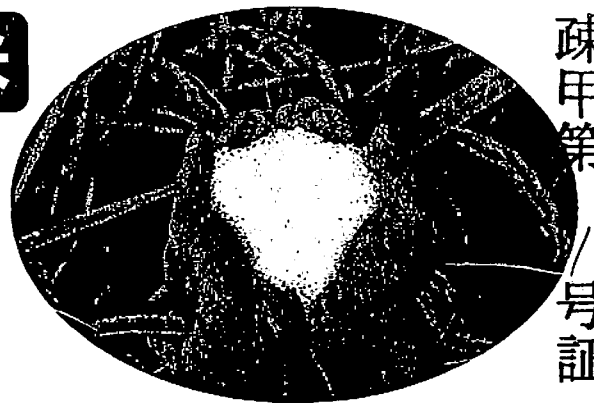


安全・安心・おいしい新潟米

いもち病に強い

「コシヒカリ」ができました



疎甲第10号証

いもち病に強い
コシヒカリって?

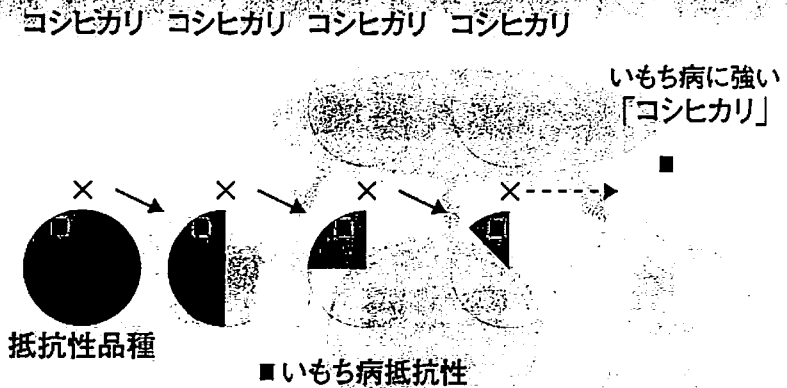
- ・ いもち病に感染しにくい性質をもたせました。
- ・ 稲姿、食味、品質、収量はコシヒカリと同じです。
- ・ 「コシヒカリ」として集出荷・検査・流通します。
- ・ 平成17年度の導入を目標としています。

● いもち病に強い「コシヒカリ」は
遺伝子組換え技術によって作り出されたものではありません

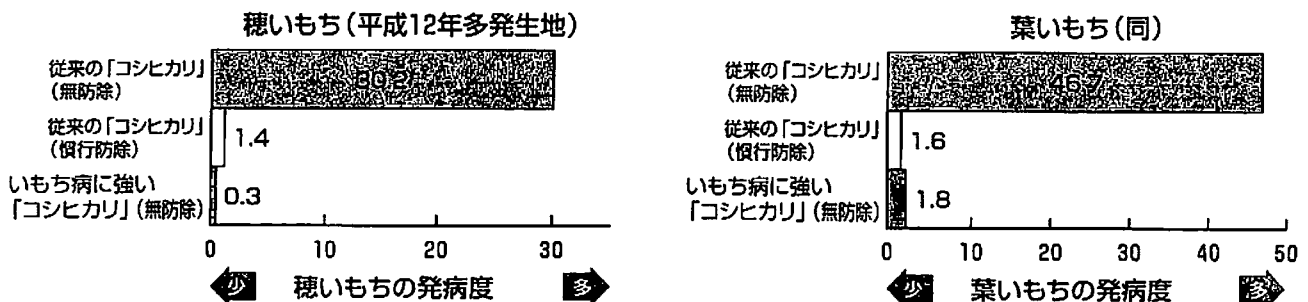
連続戻し交配による、いもち病に強い「コシヒカリ」の育成

コシヒカリに、いもち病に強い性質だけを取り入れるために、従来から用いられている「連続戻し交配法」を使いました。遺伝子組換えの手法は使っていません。

昭和61年から15年の年月をかけ、抵抗性が異なるコシヒカリを育成しました。



● いもち病に対して高い発病抑制効果があります



「新潟米」を中心とした水田農業経営確立運動委員会・新潟県
JA新潟中央会・JA全農にいがた・新潟県主食集荷商業組合、新潟県種子協会

● 食味は従来の「コシヒカリ」と変わりません

食味項目	いもち病に強い「コシヒカリ」が良い	どちらも同じ	従来の「コシヒカリ」が良い
香り	12人	42人	11人
光沢	12人	34人	19人
味	16人	26人	23人
粘り	16人	28人	21人
硬さ	21人	25人	19人

県内外卸7業者、計65人に食味試験した結果

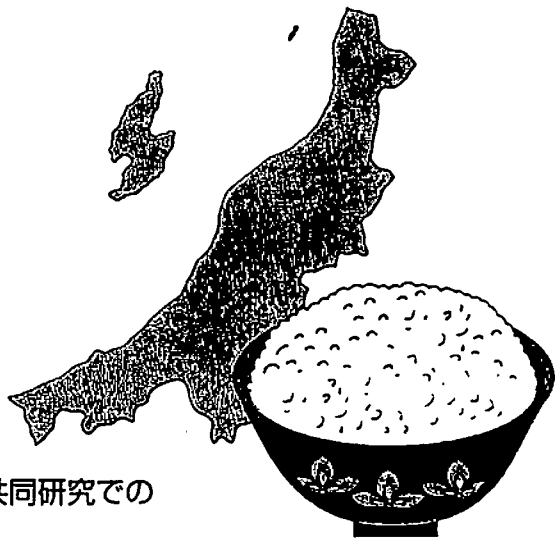
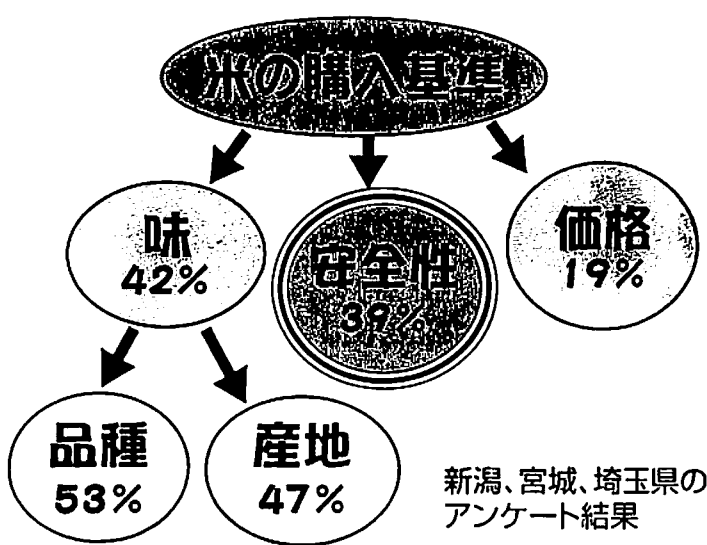
● 毎年、種子を更新する必要があります

食の安心・安全への関心の高まりから、来歴が明らかな採種は産の種子を使用することが必要となっています。

また、いもち病に強い効果を十分に発揮させるためには、県内のいもち病菌レースの分布に合った適正な種子を使う必要があります。

更新しない場合には、安定した発病抑制効果が発揮されず、いもち病の被害を受ける恐れがあります。

できるだけ農業に頼らないで生産できるので、より安全・安心でおいしい新潟米を消費者に提供することができます。



新潟、宮城、埼玉県の共同研究でのアンケート結果

いもち病に強い「コシヒカリ」の普及計画

平成15年度は県内500か所程度で展示ほを設置して、農家の皆さんから見て・触れて・食べていただきたいと考えています。

また、県内外の消費者や販売店に向けて宣伝活動を実施します。

当初、平成16年度からの一般栽培を予定していましたが、生産者の皆さんに十分な理解と納得をしてもらう周知期間が必要と判断し、導入を平成17年度に延期しました。